

[所 感]

長崎市議会議員 井原 東洋一

福州市との友好都市提携 30 周年を記念する長崎市からの訪問は、公式訪問団に加え経済団、一般参加を含め、総勢 96 名もの大規模なものとなりました。

受け入れてくださった福州市の対応は、万端にわたり、最高級の待遇で、友好交流の一層の発展に期待する福州市の強い意志が感じられるものでありました。長崎市との福州市の間では、さらに進化した交流の再協定が行われました。

また、今回の交流では、「まちづくり」「教育」「水産」「経済」の各分野にわたり専門的に行われましたが、私は、「まちづくり」に参加しました。「まちづくり」では、「音を出しての発展」とも言えるような急速な開発や、古い歴史を生かした街づくりなどについて説明を受けましたが、財政的措置、私権の制限に関する市民の協力、開発後の活用方法などについて体制の相違はあっても、事業の推進には、多くの困難が伴う現実を共感しました。